

研究名： 創外固定・骨延長治療中における疼痛緩和の実態

1．研究の目的

創外固定・骨延長の治療においては、手術後の痛みや骨延長にともなう痛みが生じることが知られています。痛みは患者さんの生活の質を低下させることから、痛みのケアは治療過程において必須の事柄です。これまで、手術後の痛みに関する調査は行われていますが、入院期間中の全過程における調査はほとんどされていません。そこで、創外固定・骨延長中の鎮痛剤の使用状況と患者さんの痛みの状況を分析し、効果的な痛みの緩和について検討します。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2015年1月～2019年12月までに下肢に創外固定・骨延長の治療を受けた方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2021年3月

研究方法：診療録、看護記録等から患者さんの年齢、性別、疾患名等の基礎情報、創外固定設置部位等の治療経過、鎮痛剤使用数、鎮痛剤使用時間等の鎮痛剤使用状況等、患者さんの痛みの測定値、痛みの表現等を抽出し、統計的分析ならびに内容分析を行い、効果的な痛みの緩和について検討します。

3．研究に用いる情報の種類

年齢、性別、診断名、治療の経過、鎮痛剤の使用状況、痛みスケールの値、痛みの表現に関する記述等。

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、4月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 看護部 永田真美 小林良子 小江寛子

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：3000）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 看護部 小江寛子